公益社団法人
愛知県臨床検査技師会報

No.432.2018.3.1
3月号

Labo News

らぼニュース

発 行 所　公益社団法人愛知県臨床検査技師会
住　　所　名古屋市中村区名駅5-16-17
　　花車ビル南館　〒450-0002
電　　話　052-581-1013
F A X　052-586-5680
ホームページ　http://www.aichi-amt.or.jp/
Eメール　aamt@aichi-amt.or.jp
取引銀行　三菱東京UFJ銀行 柳橋支店
　　普通口座731-677
発 行 人　椙山広美
編 集 人　山田　真

No.432　目次

◆平成29年度
　地域ニューリーダー育成研修会参加報告‥(2)
◆「New Yearパーティー2018」に参加して‥(3)
◆スキルアップ研修会に参加して‥‥‥‥(4)
◆血液研究班基礎講座に参加して‥‥‥‥(5)
◆尾張東地区研修会に参加して‥‥‥‥‥(7)
◆フレッシュセミナー2018 ‥‥‥‥‥‥(8)
◆講演会・研究会‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥(9)
◆第3回ラボラトリーフォーラムin名古屋‥(10)

日臨技報告

愛臨技副会長　藤田　孝（日臨技愛知県担当幹事）

平成30年２月２日(金)、３日(土）の２日間、全都道府県の会長および各県幹事参加のもと、「法律改正報告会」、「賀詞交換会」、「情勢報告会」、「全国幹事連絡会議」が開催されました。

２月２日の法律改正報告会では、伊達忠一参議院議長列席のもと、昨年改正された「医療法及び臨床検査技師法」の詳細について古川俊治参議院議員から解説していただきました。法律改正報告会に引き続き行われた賀詞交換会では、伊達参議院議長や塩崎恭久前厚生労働大臣をはじめとする多くの国会議員、日衛協など各関係団体の会長や役員など多くの方が参加され、会場はあふれんばかりの人で、たいへん熱い会となりました。

２月３日に開催された全国幹事連絡会議は、毎年年初に開催され日臨技の次年度事業計画（案）や予算編成方針が報告されるとともに、各都道府県と日臨技との意見交換を行う場が設けてあり、各県技師会と日臨技とのパイプを担う会議です。会議に先立ち、情勢報告会として宮島会長から法改正に伴う日臨技の動向や診療報酬改訂の情報など、臨床検査業界の過去から現在、そして未来に向けての方向性など、重要な報告がありました。それを受けて全国幹事連絡会議では平成30年度の日臨技の事業計画（案）概要説明、各都道府県技師会との連携事業説明、質疑応答などが行われました。

平成30年度事業計画（案）では、本年12月に予定されている「医療法及び臨床検査技師法」一部改正法施行に向けて、「医学検査」の専門家として、国民に安心安全で質の高い医療の提供を目指し、品質・精度保証された検査データを確立するため精度管理事業や精度保証施設認証制度の再構築を検討すると報告がありました。職能開発や人材育成、組織強化にも取り組み、e-ラーニングの活用推進、臨床現場で多職種連携医療の一員として活躍できるための「多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会」、「地域ニューリーダー実践講習会」の開催、各都道府県においてリーダーを育成する「都道府県ニューリーダー育成講習会」、卒後数年の会員を対象とし、医療人、職能人としてのスキルアップを目的とした「初級・職能開発講習会」の開催、また国際協力として日韓交流や台湾との学術交流、カンボジアへの技術支援など多くの事業を展開して行くとの報告がありました。

最後になりますが、当会におきましても日臨技並びに中部圏支部と連携を図り、県民ならびに会員のために事業を展開して参ります。今後とも日臨技ならびに愛臨技の事業にご理解・ご協力をお願い申し上げます。

平成29年度　地域ニューリーダー育成研修会参加報告

JCHO中京病院　　武山　純也

平成30年１月12日から14日にかけて東京都の日臨技事務所にて、地域ニューリーダー育成研修会が開催されました。各都道府県から代表者１名が参加し、今回私が愛臨技より推薦をいただき参加させていただきました。今回で４回目となり、初めて47都道府県全代表が集まる予定でしたが、残念ながら１県がインフルエンザの為に急遽欠席となってしまい、47都道府県すべてが集まることは叶いませんでした。この研修会は技師会にて次世代を担うリーダー育成を目的とし、短期中期の事業計画作成方法や問題解決策を導き出すために必要な基礎知識を学ぶというものでした。実際に日臨技事業を題材にオフサイトミーティングとステップ表（MTS）という考え方と手法も用いて、５～６名のグループに分かれて、実践形式で進行していきました。私のグループには京都、佐賀、新潟、千葉、高知といったメンバー構成でした。

オフサイトミーティングとは、「気楽にまじめな話をする」をコンセプトとし、問題を分析し対策を考える問題解決型の話し合いではなく、それぞれの思いや考えをありのままに共有し、相談や協力がしやすくなる関係性をつくり、チームとしての一体感や創造的な活力を生み出していくことを目的とする考え方です。

ステップ表（MTS＝Management by Target Setting：目標設定を通じた管理）とは、目標共有・全員参加・自力実行をコンセプトとし、目標達成に向けてのストーリーやキーワード、行動のステップ、協力者の共感、5W1Hなど必要な情報を１枚にまとめ「見える化」することで、目標達成イメージを具体的にする手法です。中でも、現状の問題点を整理する際に用いたトヨタの「なぜなぜ５回」の思考は、原因を突き止めるうえでとても大切なことであると感じました。「なぜ」を５回自問自答することによって、事象の原因をより深堀し、ものごとの因果関係や、その裏に潜む本当の原因を突きとめる事ができるというものです。普段の業務でも実践することが出来き、業務改善等に活用できると思いました。

研修会は、なかなかタイトなスケジュールでしたが、グループの皆が目標達成に向けて様々なディスカッションをすることができたことで、大変楽しく有意義な研修となりました。また各地域の方と意見交換ができたことで、改めて自施設の検査室のみに留まるのではなく、医師や看護師等の他職種、他施設の方と交流することは、新たな知見や問題解決のきっかけを得ることができるなど、素晴らしい経験になると思いました。

今後は各都道府県技師会での開催も予定しているとのことでしたので、その際は気楽にまじめな話ができればと思います。

「New Year パーティー 2018」に参加して

安城更生病院　大島　康裕

平成29年度愛臨技「New Yearパーティー　2018」は、国際センタービル25階「東天紅」にて202名（会員88名　賛助会員114名）の参加のもと開催されました。私はこのNew Yearパーティーに参加し、綺麗な夜景と豪華な料理を堪能しましたので報告します。

New Yearパーティーは椙山会長のあいさつに始まり、中根副会長の司会進行で大いに盛り上がりました。また、技師会員だけでなく賛助会員も多数参加されており、普段なかなかできないような交流をとることが出来ました。途中、女性全員へのプレゼントや、自分を含めた若手が壇上に上がるといった場面もあり、ベテランから若手まで幅広く楽しめる会だと感じました。

終盤では抽選会もあり、くじ運のない自分がなんと会長賞（ディズニーペアチケット）を引き当ててしまいました。名もなき若手が一番の大物を持っていっても周りの反応は温かく、中には一緒に行く人がいないだろ？と目を背けたくなる言葉をかけてくださる方もいました。

他施設の方や各メーカーの方と親睦を深めることが出来、こういった催しに若手技師が積極的に参加していく意義は大きいと感じました。来年もぜひ参加させて頂き、ペアチケットの顛末について良い報告をしたいと思います。

中央筆者（会長賞当選）

懇親会風景

女性会員参加者

若手会員参加者

スキルアップ研修会に参加して

藤田保健衛生大学　坂文種報徳會病院　阿知波沙季

平成30年１月28日（日）に名古屋市立大学で開催された、スキルアップ研修会『救急病態と臨床検査を繋ぐ.Ⅱ』に参加させていただきました。

『血液ガスの判読と救急病態』では、前回の講演の復習もかねてデータ判読の基礎から詳しい部分まで丁寧に説明していただきました。酸素化状態の把握が講義の中心であり、検査結果のどの項目に異常があるかをみることで、細胞への酸素供給が途絶えている段階を把握することが可能だと学びました。

『輸血検査のトラブルシューティング』は、実際に院内で経験したトラブルが紹介されており、当直業務中でも起こりうる様々なトラブルを知ることができました。

症例検討では『意識がない?!』というテーマで、まず初見で主訴、病歴、身体所見、初回検査結果からどのような疾患が疑われるかを考えることから始まりました。時間の流れに沿った追加検査の結果を見ながら患者さんの疾患を特定していきました。その中で普段検査室内では使うことのないJCSやGCSなどの意識障害の評価法やその有用性について学んだこと、さらに検査結果のとらえ方について各部門の先生方に詳しく解説していただいたことで、他部署の業務への理解が一層深まりました。

特別講演は『意識障害：救急医が考えること』について、医師の視点からの実際の救急現場の映像を用いながら、意識レベルの低下した患者さんに行う検査と処置についてご説明いただきました。

今回の研修会で学んだことはすべて、すぐに業務に役立つ内容でとても有意義な研修会であったと感じています。

最後にこのような勉強の機会を設けてくださった愛知県臨床検査技師会の皆様、また、多忙な中講演してくださった先生方に感謝いたします。

症例検討講師

特別講演講師

血液研究班基礎講座に参加して

㈱グッドライフデザイン　ラボラトリー事業部　血液部門　　杉浦　愛理

2018年１月21日（日）名古屋大学医学部で開催された、血液検査研究班・基礎講座に参加させていただきました。テーマが「初心者向けの血液像の見方」ということで、血液像を読み始めて日が浅く、経験の少ない私にとって絶好の学ぶ機会となりました。

午前の「顕微鏡の正しい使い方」、「末梢血液標本の作成から末梢血液細胞鑑別の基礎」の講義では、普段使っている顕微鏡について、対物レンズの表記やその種類による性能の差など新しく知ることができ、また血液像鑑別の上で見分けにくい細胞についても特徴を挙げて分かりやすく丁寧に解説してくださり、各細胞の特徴と共にその細胞の臨床的意義についても改めて整理することが出来ました。

午後の鏡検実習では症例を用いて実務委員の方に指導していただきながら、実際に症例に遭遇した場合の血液像を見るときのポイントや次に行うべき検査、臨床医に検査技師として伝えるべきことなど、より普段の検査に近い形で血液像を見ることが出来ました。１つ１つの症例について考える時間が充分にあったので、実習の中で生まれた疑問点だけでなく、日常の業務の中で感じたことについても実務委員の方に意見を伺うことができて大変勉強になりました。

まだまだ未熟ではありますが、今回の講座で学んだことを活かし、見逃しのない正確で迅速な検査を行えるよう努力していきたいと思います。

医療法人豊田会　刈谷豊田総合病院　臨床検査・病理技術科　三輪　千晴

平成30年１月21日、名古屋大学医学部にて開催されました血液検査研究班基礎講座に参加させていただきました。「初心者向けの血液像の見方」をテーマに、午前は講義を聴講し、午後は末梢血液標本の鏡検実習を行いました。

講義では、顕微鏡の正しい使い方や様々なトラブルシューティングを知ることができました。また、末梢血液標本の作製や血液細胞の鑑別について学びました。細胞の種類ごとに画像を用いた細やかな説明があり、非常に分かりやすかったです。

午後の鏡検実習では、コントロールスライドをカウントし、正しく分類できているのかを確認しました。その後、課題として４症例のスライドを鏡検し、検査所見や病歴などをみながら、医師に報告する形態のコメントや追加検査項目を考えました。さらに、各症例の骨髄標本や特殊染色標本を観察し、疾患名を推定し

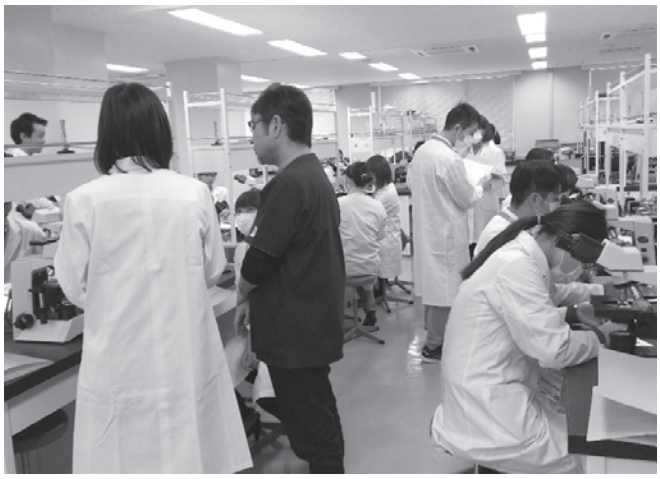
午前：講義

午後：鏡検実習

ました。実習終了後には疾患ごとの詳しい解説があり、よりいっそう理解が深まりました。

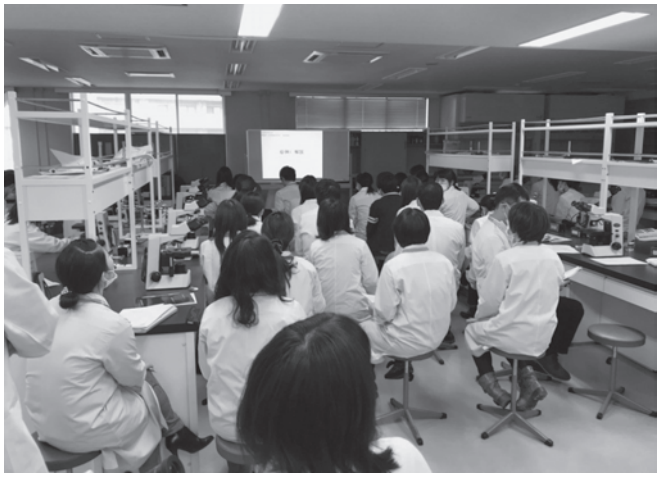
鏡検時には実務員の方々が各グループについてくださり、血液像の見方や押さえるべきポイントなど多くのアドバイスを頂きました。今回この基礎講座で学んだことを日々の業務で実践し、より質の高い情報を臨床側に提供していきたいと強く感じました。

最後にこの貴重な講座を開催して下さった全ての方々に、この場をお借りして心から感謝申し上げます。



午後：鏡検実習

午後：鏡検実習



午後：症例解説

午後：症例解説

2018年2月8日現在　正会員数　3,238名

学術部からのお知らせ

【学術部研究班　班員募集期間延長のお知らせ】

平成30年、31年度の学術部研究班の班員募集を12月１日から行っているところですが、募集期間を３月18日まで延長いたします。

応募方法等は「らぼニュース12月号」7ページをご参照ください。

尾張東地区研修会に参加して

名古屋市立東部医療センター　中央検査科　福本　恭子

平成30年１月13日に開催された尾張東地区研修会に参加しました。研修会のテーマは「忘れてはいけない検査のポイント～日常検査と救急医療～」でした。私の勤める名古屋市立東部医療センターは、２月より救急外来での三次救急の受け入れが始まるため、緊急検査のポイントを再確認できる非常に良い機会だと考え研修会に参加しました。

今回の研修会では講義内容が３つありました。まず「日当直時における緊急検査」では緊急検査の概要や緊急検査として必要な体制について教えていただき、「生化学検査におけるデータ解釈とピットホール」では生化学データの読み方を症例提示もふまえて詳しく解説していただきました。普段検体検査に携わっていない私は知識の再確認を行うことができ、とても勉強になりました。また「救命センター専属技師としての役割」では、救急外来への臨床検査技師の出向業務という貴重な活動内容を教えていただき、TTATとTQAの重要性を知ることもでき非常に参考になりました。

今回の勉強会を通して、検体採取から結果報告の仕方などを見つめ直すことにより、質の高い検査結果を出すことができると感じました。また、正確なデータを出すことはもちろん重要ですが、緊急を要する救急の現場や臨床の現場で医師が求めていることを意識して仕事をすることも必要だと感じました。チーム医療の一員としてこれからは臨床の現場に積極的に出ていくことが求められる中で、臨床検査技師としていかに貢献できるかを考え直す良い機会になったと思います。

フレッシュセミナー2018

【基礎教科：20点】
日　　時：平成30年４月22日（日）９：30（受付開始）～14：00
場　　所：アーバンネット名古屋ビル20階　シスメックスリップルスクエア
アクセス：久屋大通駅　出口3B直結　　電話　052-775-8101
会　　費：無料
対　　象：新入職者（若手・引率技師含む）100名（定員になり次第締め切り）
服　　装：軽運動ができる服装およびタオル
内　　容：①臨床検査技師会の紹介（愛臨技・日臨技）　愛臨技役員
②養成校からのメッセージ　藤田保健衛生大学・名古屋大学・中部大学
③リフレッシュ・フィットネス　Free Fitness IR　草野　茂　氏
④意見交換会および写真撮影（軽食）　参加者全員
申し込み：日臨技会員未登録および申請中での参加も可能です。下記申し込み用紙にて愛臨技事務所までFAXでお送り下さい。
締　　切：平成30年４月16日（月）（定員になり次第締め切り）
問合せ先：豊田厚生病院　中根　生弥　0565-43-5000（7186）

公益社団法人　愛知県臨床検査技師会　宛
FAX番号　（052）586-5680
【フレッシュセミナー2018　申込書】

	施設名：	申込責任者：	TEL： FAX：
No	会員番号（登録者のみ）	参加者名	
1			
2			
3			
4			
5			

講　演　会　生殖医学検査研究班

専門教科：20点
日　　時：平成30年４月７日（土）15：30～17：00
場　　所：JA愛知厚生連 豊田厚生病院
　　2階　第1会議室
テ ー マ：肥満と不妊
講　　師：１.「妊娠時の栄養管理」
　　JA愛知厚生連 豊田厚生病院
　　栄養科　　近藤　早
　　２.「妊娠前、妊娠中の血糖管理」
　　ジョンソン・エンド・ジョンソン㈱
　　学術部　　高倉　祐子
司　　会：JA愛知厚生連 豊田厚生病院
　　臨床検査技術科　　三澤　千鶴
内　　容：不妊と関係があるといわれている肥満ですが、知っているようで実はあまり意識されていないのではないでしょうか。妊娠中や出産時にも悪影響を及ぼすため、正しい知識を身につけ、明日からの業務に役立てましょう。

研　究　会　生物化学分析検査研究班

専門教科：20点
日　　時：平成30年４月７日（土）15：00～17：00
場　　所：株式会社カーク本社ビル5F大会議室
　　名古屋市中区丸の内3-8-5
テ ー マ：高血圧について
講　　師：１．高血圧の仕組み～解り易いRAA系～
　　JA愛知厚生連 豊田厚生病院
　　高井　美帆
　　２．糖尿病と高血圧
　　名古屋第二赤十字病院　吉川　実季
　　３．高血圧
　　～二次性高血圧の検査を中心に～
　　和光純薬工業株式会社
　　臨床検査薬事業部営業推進部
　　中嶋　久衣
司　　会：株式会社グッドライフデザイン
　　佐藤　文明
　　半田市医師会健康管理センター
　　青木　岳史
内　　容：高血圧の仕組みと関連する検査について、また二次性高血圧とその原因の多くを占める糖尿病性腎症などについて解り易く解説いたします。多くの方の参加をお待ちしております。

研　究　会　微生物検査研究班

専門教科：20点
日　　時：平成30年４月７日（土）15：30～18：00
場　　所：リップルスクエア
　　アーバンネット名古屋ビル20F
　　久屋大通駅5A出口より徒歩1分
テ ー マ：もう一度学び直そう！
　　CRE/CPEの現状と課題
講 演 １：CRE/CPEの言葉の定義と４学会連携提案について
　　小牧市民病院　　西尾　美津留
講 演 ２：CRE/CPE検査法の現状と問題点
　　－何ができて何ができない？－
　　愛知医科大学病院　　坂梨　大輔
講 演 ３：幻の微生物学会副学会長講演
　　JA愛知厚生連江南厚生病院　舟橋　恵二
司　　会：名古屋第二赤十字病院　　原　祐樹
　　刈谷豊田総合病院　　蔵前　仁
内　　容：講演１では日本臨床微生物学会をはじめとした４学会が提案した、CRE/CPEに関する提案を丁寧に分かりやすく解説します。
　　講演２ではCRE/CPEの検査についてその現状と問題点を解説します。
　　講演３では２月に開催された微生物学会の副学会長よりお話をして頂きます。
　　多数のご参加をお待ちしております。

第3回 ラボラトリーフォーラム in 名古屋

採血 業務 神経損傷予防 VVR予防 の ポイント・対処法

日　時

2018年 5/19 土

15:00〜18:40

[開場14:00〜]

会　場

JRゲートタワーカンファレンス

JR ゲートタワービル 16 階

（JR 名古屋駅直結）

問い合わせ先

㈱ビー・エム・エル　フォーラム事務局

☎ 03-3350-0572 受付時間 9:00-17:00（月ー金）

参加申込みは 4 月 19 日（木）17:00 より
WEB サイトにて受付スタート

http://www.bml.co.jp

お電話での参加受付は行いませんので予めご了承ください。

参加費 無料

定員 270名

プログラム（開場 14:15 ▶）

15:00 ▼ 15:10　代表世話人 開会挨拶

渡辺 清明 先生　●東京臨床検査医学センター 理事長　●慶應義塾大学 名誉教授

15:10 ▼ 16:10　採血に関わる業務のポイント

座長　下田 勝二 先生 ●日本適合性認定協会 認定センター 参事
棚橋 洋子 先生 ●横須賀共済病院 中央検査科 技師長

演者　①三浦 ひとみ 先生 ●東京女子医科大学病院 中央検査部 技師長
「採血における手技・検体処理による検査データへの影響」

②梶山 あゆ子 先生 ●NTT東日本関東病院 看護部 教育開発支援部門
「病棟採血から学ぶもの」

16:10 ▼ 17:10　神経損傷予防のポイント

座長　渡邊 卓 先生　●杏林大学医学部長　●杏林大学医学部 臨床検査医学講座 教授

演者　大西 宏明 先生 ●杏林大学医学部 臨床検査医学講座 教授

17:10 ▶ 17:30　休憩 20分

17:30 ▼ 18:30　血管迷走神経反射の予防と対処法

座長　古川 泰司 先生 ●帝京大学医学部 臨床検査医学講座 教授

演者　入江 仁 先生　●京都府立医科大学大学院 医学研究科 総合医療・医学教育学 助教

18:30 ▼ 18:40　世話人 閉会挨拶・総評

中原 一彦 先生 ●東京大学 名誉教授

18:40　閉会

※都合によりプログラムが一部変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

〈主催〉 株式会社ビー・エム・エル　〈後援〉公益社団法人 愛知県臨床検査技師会／一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会